

会議録（要点筆記）

会 議 名	第8回米原市総合計画審議会
開 催 日 時	平成28年7月8日（金） 午後7時00分～午後9時00分
開 催 場 所	米原市役所米原庁舎 会議室2 A
出席者および欠席者	出席者：岩崎恭典委員、鵜飼修委員、西林正夫委員、振角大祐委員、川崎祐七委員、北川学委員、竹中礼子委員、鏑田鉄雄委員、富岡尚子委員、中野民子委員、福永ひろみ委員、安田智枝美委員、森嘉信委員 事務局：田中祐行政策推進部長、鏑田正広政策推進部次長、政策推進課：小寺真司課長補佐、森川誠、竹本沙代、渡邊剛士 傍 聴：1人 欠席者：小竹一男委員、田中雄一委員
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメント等で寄せられた御意見と対応案について ・第2次米原市総合計画基本構想（案）について ・答申書について
結 論	・パブリックコメント等で寄せられた御意見の対応案および第2次米原総合計画基本構想（案）を一部修正し、市長へ答申する。
審 議 経 過	<p>1 開会 （事務局から開会あいさつ）</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>会長 一気に暑くなった中で御参集いただきましてありがとうございます。後程、資料3に基づきまして、今後のスケジュールを説明させていただくことになると思いますが、資料3を御覧いただきますと、4月に第6回、第7回の総合計画審議会を開催し、各章について御意見をいただきました。4月の下旬以降、2か月の間隔をおいての開催となりました。</p> <p>その間、特にパブリックコメントでたくさんの御意見をいただきました。色々な会議やパブリックコメントをしています、多分、総合計画でこれだけの意見が出たのは珍しいと思っています。</p> <p>本日の審議会では、基本構想（案）を決定するとともに、議案を提案する前に私と鵜飼先生から市長へ答申をするという手続が必要になります。そういうことを考えますと、今日の第8回総合計画審議会で、みなさんから総合計画（案）について御意見をいただくのは最後の機会となります。</p> <p>今日は、みなさんから御意見をいただきながら、基本構想（案）を確定させたいと思っています。それが今会議の大きな目標の一つです。</p> <p>そしてもう一つは、先程も言いましたが、みなさんを代表して答申書を私と鵜</p>

事務局	<p>飼先生とで市長にお渡しします。その答申の中に盛り込むべき内容も御発言いただければと思います。例えば、この総合計画を進めるに当たって、どういう点に注意すべきだとか、これまでの議論、審議の中で、みなさんがお考えになったものもあると思います。そういうものも御発言いただきたいと思います。</p> <p>それともう一点は答申書を書くに当たって、総合計画の進め方とか、こういう所に注意してやっていかなければいけないと言うようなことがあれば、ぜひ御発言いただきたいと思っています。</p> <p>では、最初に資料3に基づいて今後のスケジュールについて、われわれも確認しておきたいと思いますので、そこからお願いできますか。</p> <p>【今後のスケジュールについて（資料3）の説明】</p> <p>「4 その他 今後のスケジュールについて」を先行して説明</p> <p>3 議事</p> <p>(1) パブリックコメント等で寄せられた御意見と対応案について</p> <p>(2) 第2次米原市総合計画基本構想（案）について</p> <p>(3) 答申書について</p>
会長	<p>それでは、パブリックコメントで寄せられた御意見とその対応案について、それから、その対応案を反映させた基本構想（案）について、各章ごとに事務局から説明していただき確認したいと思います。</p>
事務局	<p>【第1章 健やかで安心して暮らせる支え合いのまちづくり【福祉】の説明（資料1、資料2）】</p>
委員	<p>資料1の2ページの1番、1次産業と子どもをつなぐことを明記して欲しいという部分ですが、この内容を受けてつくられた文書が「自然をテーマとした体験学習を推進し」ということで、これを読むと私の理解では教育、学校などでの授業を連想してしまいます。この意見を書かれた人は、そういうことを言っているのではなく、「森のようちえん」ということも書かれていますので、学校とは切り離された体験のような、もう少し大きな意味で書いているような気がします。体験学習という言葉がちょっと引っかかってしまいました。私の言葉の感じ取り方によるのかもしれませんが。</p>
委員	<p>私も同じように思いました。今、案の文章はちょっと違うなと感じました。</p>
会長	<p>この文章だと体験学習という言葉があるので、学校教育のようなイメージでしょうか。</p>

委員	<p>人間と自然は別々のものという感じがすごくすると思うのですが、この意見を書かれた方は、環境の中の一部という認識を持てるような、そういう経験を子どもにさせたいという思いを持っておられるのではないのでしょうか。育っていく中でそういう環境が欲しいという感じかと思いますが、これだと、最後の方の自然に感謝する心を育みますというの、もちろん感謝ですが、そうすると自分と感謝する対象のような、切り離されたものという感じがします。そうではなく、ここに意見を書いておられるように、そこで蓄積されていく知恵とか、そういうものを大切にしたいということなので、ちょっと難しいのですが。</p>
委員	<p>分かります。本来人間が育んできた一番原始的な生活というか、そういうところをもう一回見直して、それらを子どもたちに経験させていきたいという思いを持っておられる感じがします。例えば、自宅出産をなさって、お米も自分の手で植えて、それを収穫するとか、冷蔵庫に頼らない生活とか、そういうちょっと分かりませんが、「森のようちえん」ということを書いておられる方なので、そういうことを思っておられるのかなと思います。</p>
委員	<p>私も体験学習と書いてあるのを読んで、学校的な感じだなと思いました。読み返してみたら、切れ目のないということが書いてあるので、それを考えて体験学習という言葉を入れたのかなと思ったりもしたのですが。</p>
事務局	<p>この意見を自然のところに入れたらいいのか、教育のところに入れたらいいのか悩んだのが実際です。学校でも、たんぼの学校や自然に親しもうという活動をされていますので、そういった中でもう一つ踏み込んで、例えば、自然の恵みや怖さなどを学んでいくことができないかということで福祉（子育て支援）の分野に入れるべきと思いました。子育てと子育て環境の充実ということで、育っていく中でこういったことを経験していくというか、分かっていくことが重要であると感じました。</p> <p>うちの子どももそうですが、最近山に入って遊んだり、川に入って遊んだりすることがなかなかないので、育ちの中でこういうことが分かってくると非常にいいのかなと思っています。</p> <p>自然分野で自然保護というところで書くことも考えたのですが、結果としてこちらに書いたという次第です。</p>
会長	<p>例えば、資料2の77ページ、自然に親しめる環境づくりというところが、資料1の1番の自然と向き合うことで蓄積してきた知恵を大切にするような環境をつくっていくことになるのでしょうか。ちょっと違うのでしょうか。</p>

委員	最初に書かれているように、1次産業と子どもということは、例えば、畑で何かを育てるとか、もっと生活に密着した感じかと思うのですが。
事務局	日ごろの生活の中で分かっていくというか、触れられる仕組みという方が近いということですか。
委員	どこか一つにカテゴライズするよりも、複数のページにも、そちらの視点から見たら、そういう書き方ができるみたいなこともあると思います。それを足して何か政策に落とし込めるというかたちであれば、書きぶりを変えて複数のところに書いてもいいのかなという気はします。
事務局	自然の蓄積みたいなところを、例えば、自然環境の分野で押さえて、自然体験の部分を第1章に残す。そういう考え方もあるのではないかと思います。
副会長	「向き合う」という言葉は総合計画にふさわしくありませんか。向き合うという言葉は理解するのに難しいでしょうか。ワードとして「自然と向き合う」ということがすごく大事なのかなと思います。自然と向き合うという体験のようなものを子どもたちにしてもらいたい。その手段として1次産業としての連携みたいなものがあるという話だと思います。
事務局	自然と向き合うという言葉は第1章に残して、第3章の自然環境の分野にも書くということですか。
副会長	小さい頃から自然と向き合うということが、米原市ではもっとできるのではないかと思います。そういうポテンシャルがあると思います。
委員	1次産業と子どもをつなぐことを明記して欲しいというので、資料2の95ページ、4-2の1次産業のところに入れて欲しいという思いもあると思います。
事務局	おっしゃるように、最初悩みました。実際、子どもが1次産業と触れ合うことも大事ですが、まずは自然と向き合うといった所から始めた方が政策としては今後広がるのかなと思います。その中で例えば、1次産業との関わりということで、学校でやっている田んぼの学校で、命や自然の恵みとか自然を体験することが大切であると思います。
委員	その先に産業に向かっていく、そういう子どもを育てるということですね。
事務局	ここからたくさん広がっていくようなイメージで、まとめていった方がいいの

	<p>かなと思います。これまで御意見をお伺いして思いました。今、「自然と向き合う」という言葉が出てきましたので、それをキーワードにしてまとめたいと思います。</p>
委員	<p>先ほど、意見をされた方に返すと会長はおっしゃっていたのですが、その時には、今、話に出たことをうまくまとめながら出すというかたちですか。</p>
事務局	<p>実際、回答はホームページから見ることになりましたが、資料1の回答欄がホームページで公開されます。回答も原案の通りにしますということではなく、なるべく丁寧に回答させていただく方針でまとめています。</p>
会長	<p>それは大したものです。</p>
事務局	<p>それで色々書かせてもらっています。その中でもこの言葉から「向き合う」というワードを引き出して施策展開を図りますということで、先ほどの第1章の部分であるとか、自然環境の部分にふくらませて、これをホームページで公開していきたいと思っています。</p>
会長	<p>例えば、資料2の41ページでいうと自然をテーマとしたというのを、自然と向き合うことをテーマとした体験学習でもいいのかもしれませんが。けれども、それ以外に資料2の95ページのところであるとか、いくつかのところに分けて、資料1の1ページの1番で「向き合う」ということをキーワードにしながら、子どもを育てる、1次産業と子どもをつなぐというようなことを含め、修正することによろしいですか。</p>
事務局	<p>わかりました。</p>
事務局	<p>【第2章 ともに学び輝き合う人と文化を育むまちづくり【教育・人権】の説明（資料1、資料2）】</p>
委員	<p>職業観教育についてですが、今、シティセールスの方にも入っており、その中で米原市の特性として、田舎だけれども新幹線も止まるという事で、新しい働き方ができるとか、新しいライフスタイルができる、ものづくりする人が来て東京に売りに行くことができるのではないかという発想の下で色々としていこうとしています。そうすると、多様な価値観を認めるとか、新しいということは大切なワードだと思っています。もともとある文章の中に多様な価値観を許すとか、認める、もっと言うと、子どもたちの個性を生かすとか、十人十色というところを込められるといいのかなということを個人的には思っています。</p>

	<p>サラリーマンがだめということではもちろんなくて、大多数なんだろうとは思いますが、まちに比べると仕事環境としても、会社の数が少ないということもあるわけですから、対抗としてどこを出していくかという、伸ばしていこうという方であったので、そこら辺がリンクしてくるといいのかなと、教育の方にもリンクしてくるといいのかなとちょっと思いました。</p>
事務局	<p>理念や推進行動の中でも個性を生かすとか、多様性を生かすといったことを書いていますので、多様な価値観を目指す、個性を生かすというようなワードを入れることはいかがですか。</p>
会長	<p>「多様な」という言葉をキーワードにするということですね。</p>
委員	<p>最近はないのか分からないのですが、職業観教育はキャリア教育というようなかたちで言われていたと思います。それをここに入れればいいのかなとも思ったりもしたのですが。ちょっと意味合いは違うのでしょうか。</p>
会長	<p>キャリア教育というのは職業観教育だけではありませんね。人生の選択のような意味ですね。だからそこを教育全体に関わることでもあるし、多様な生き方を選択できるというキーワードにつながっていくことだと思います。</p>
事務局	<p>最初は職業観、キャリア教育について入れようかと思って考えたのですが、未来を自分がどう生きたいか、どうなりたいかという思いを持てる子どもが仮に育ったとすると、それがその子どもにとって成長する過程の中で、自分はこんな仕事に就きたい、こんなふうになりたいというようなことが、いわゆる大きな意味でのキャリア教育になっていくのかなというような思いがあります。そこで、心豊かで未来をたくましく生きるというような言葉で表せないかというイメージを持たせています。</p>
会長	<p>そこに「多様な」という言葉が入ればいいなということですね。</p>
委員	<p>もう一つ教えていただきたいのですが、学校支援対策協議会はどこにいったのでしょうか。ちょっと見当たらず。この地域の特性に応じた学校運営の推進というところにあったような気がしたのですが、どこかに入っているのでしょうか。</p>
事務局	<p>資料2の64ページを御覧いただきたいと思いますが、地域特性に応じた学校運営の推進という中で、2つ目の丸の中で学校運営の参画とか、開かれた学校づくりとか、地域人材を活用した教育活動の実施というところで記載しています。</p>

会長	コミュニティスクールという言葉は出さないということですね。
事務局	コミュニティスクールと書くと、それだけして終わりということになると広がりがなくなりますので、広がりを持てる記載をしています。
副会長	「たくましく生きる」という言葉がとても気になります。弱々しく生きてもいいではないかと。もしくは、しなやかに生きると。形容詞はいらないと思うのですが、たくましく生きるというと、みんなたくましく生きなければならないのかと。学生たちにはたくましく生きる必要はないという指導をしています。自分の特徴に合わせて生きればいいと。ただし、私が言っているのは新しい未来、社会を切り拓いて欲しいということで、それがたくましく生きることではないということです。スパルタ的な表現があると頑張らなければならないのかなど。
委員	その言葉を使ってはだめですか。
事務局	使わせていただきます。
会長	心豊かに多様な未来を切り拓く人材という感じでしょうか。
委員	私は教育の分野で米原市教育振興基本計画にも入らせていただいています。総合計画が上位計画なのは分かります。同時進行で、先に総合計画がパブリックコメントを募集しましたよね。それで今度、教育振興計画のパブリックコメントが出ていますが、上位計画は分かるのですが、よく似た内容をほぼ同時進行でやられていて、今度、総合計画も赤字の部分をつけ足しされていますよね。上位計画の方には赤字がプラスされたのを、その下の教育振興基本計画にも伝えて、こんないい意見が出ましたよとか、反映してくださいとか、同じ市の教育にかかわる計画として整合性というのはどうなっていくのでしょうか。
事務局	今回の審議会の結果で基本構想（案）の見直しをさせさせていただきます。その後、調整をさせていただきます。
委員	それを教育総務課の人が、自分たちが同時進行でやっている教育振興基本計画に反映させていくのですか。
事務局	基本構想（案）は、そこから色々な施策や事業が出やすいように、なるべく広い解釈ができるようにイメージして、より幅広く取れる方向性で書かせていただいているのですが、教育振興計画は分野別計画になってくるので、もっと細かい

	内容になります。
委員	<p>すごくいいことが追加されたのに、同時進行なのがすごく気になります。私としては、もし5年後、10年後に見直しされるのであれば、上位計画ともう少し時期をおかれてもいいのではないかと思いました。</p>
事務局	<p>総合計画は9月議会を目指しています。教育振興計画は12月議会を目指しています。</p>
委員	<p>結構差がありますね。でもほぼ同時進行です。せっかく赤字でいいことが追加されたのに、これが反映されるのかなとちょっと心配になります。ちょっとした疑問です。</p>
事務局	<p>注意して進めます。</p>
会長	<p>第2章についてほかに御意見はありませんか。意見がないようですので、第3章環境、防災について説明いただきます。</p>
事務局	<p>【第3章 水清く緑あふれる自然と共生する安全なまちづくり【環境・防災】の説明（資料1、資料2）】</p>
会長	<p>環境、防災の部分ではいかがでしょうか。再生エネルギーとか循環とか地産地消のようなものは文言としては入れやすいですよ。</p>
事務局	<p>そうですね。当初の原案の中に入れておりましたので、それに基づく施策の中でやってまいりたいと思います。</p>
副会長	<p>資料1の6ページの14番、木、水といった地域エネルギーを循環させることに言及して欲しいとありますが、木、水というのは何でしょうか。</p>
事務局	<p>地域エネルギーのバイオマスの利用が木、水というのは小水力発電をイメージしています。</p>
会長	<p>第3章についてはよろしいでしょうか。では次の第4章にいかせていただきます。</p>
事務局	<p>【第4章 地域の魅力と地の利を生かした活力創出のまちづくり【産業経済】の説明（資料1、資料2）】</p>

会長	産業、経済について、やはり市民の皆さんも関心が深いところで、定住をしようとする時にこういう分野の話はすごく大きいですし、現状、たくさんの御意見をいただいています。いかがでしょうか。
委員	資料1の3/5ページの11番で、6次産業化と書いてありますが、6次産業化という言葉が難しいのではないかと思います。できましたら下に注釈を入れた方が一般市民には分かりやすいと思います。
事務局	先ほどいただきました御意見については、ほかにもたくさん難しい用語があると思いますので、基本構想の冊子を編集する中で用語解説を考えたいと思います。
委員	それは必要ですね。違うかもしれませんが、資料1の8ページの21番の小商いについて、個人の生き方をしつつ、生活できるだけの最低限の生活をしたいという思いが入っている可能性があると思います。その人の生き方を大切にされた多様な働き方について書いてもいいのかなと思いました。
会長	<p>あくせくと働くことなく、自分の満足いく生活が送ればよいよねと。その部分で収入があればいいという。ワーク・ライフ・バランスですね。多様な働き方があるということだと、資料2の101ページのところで対応するのかなと思わなくもありませんが。</p> <p>1点気になったところがあります。資料1の7ページの17番で、バリアフリー化の話が道路に寄せてしまっていますが、これはもう一つバリアフリー観光というのがあるのではないかと思います。要するに、車いすで観光しやすいとか、お年寄りが増えていくわけですから、お年寄りが観光しやすいような観光地をつくっていくという、バリアフリー観光というのが一つ項目としてあがっていてもいいのではないかと考えていました。パブリックコメントの言い方はバリアフリー観光の方が言いたかった。道路のバリアフリー化だけではないというふうに読めますので。その点について考えておいていただきたいと思います。</p>
会長	いかがでしょうか、次にいかせていただいてよろしいでしょうか。では、第5章の都市基盤についてお願いします。
事務局	【第5章 心地よく暮らせるにぎわいと交流を支えるまちづくり【都市基盤】の説明（資料1、資料2）】
会長	第5章についてパブリックコメントの回答も含めて何かございませんか。

	<p>ないようですので、第6章をお願いします。</p>
事務局	<p>【第6章 まちづくりを進めるための基盤【都市経営】の説明(資料1、資料2)】</p>
会長	<p>第6章について御意見ありませんか。</p>
事務局	<p>統合庁舎関係についてですが、パブリックコメント期間中の6月議会で、米原市役所位置設定条例の一部を改正する条例について議決をいただきました。庁舎整備は大きな事業ですので、ここには案としては書いていませんが、市の財政状況等を勘案しながら適切な整備を他のハード事業とともに進めていく趣旨を追加したいと思います。</p>
会長	<p>新たに書き加えるということですね。</p>
事務局	<p>はい。追加します。</p>
会長	<p>駆け足ですみませんが、全般的事項(その他事項)について説明ください。</p>
事務局	<p>【全般的事項(その他事項)について説明(資料1、資料2)】</p>
会長	<p>パブリックコメントに対して事務局が考えていただいた回答について、本文を修正しない場合にはその理由も含めてということで、かなり丁寧にパブリックコメントに対する回答を書いていたと私は認識しています。その上で本文を修正した部分については、赤を入れていただいたわけです。われわれも初見ですので、事務局から意見記入の様式と返信用封筒を用意していただいています。1週間ぐらいの間に意見をいただければ助かるということですか。</p>
事務局	<p>はい。よろしくお願いします。</p>
会長	<p>しかもその時に、その総合計画の文章の表現をこのようにした方がいいんじゃないかとか、あるいはパブリックコメントの返事についてもう少しこういうふうにした方がいいんじゃないかという御意見とともに冒頭申し上げましたが、鶴飼先生と二人でみなさんを代表して、市長へ答申を渡さなければなりません。その時に留意すべきことや、今後の総合計画のこういう所を重点的に、特にやっていかなければならないよとか、お気付きの点があればぜひそれもコメントいただきたいと思います。できれば2つに分けてコメントをいただきたいと思います。総合計画とパブリックコメントについての意見と、それから総合計画の審議会に御参加していただいて、10年後の米原市を目指すためには総合計画の中でもこ</p>

	<p>うというようなことについて特に、例えば、推進体制であるとか、市民の意識の話であるとか、言ってみれば、総合計画に盛り込むことができなかつたことを提言の中にも書き込みたいと思います。</p> <p>みなさんには大変申しわけありませんが、宿題をいくつかお願いし、今日の会議自体は終幕の方向に向かいたいと思います。</p>
委員	<p>多文化共生社会の推進というところで、外国籍市民の方の視点があまりにもないような気がします。例えば、外国籍の方の安心、安全についていえば、外国籍の方は自治会に入っておられない方が多いんですね。そうすると地域で実施している防災訓練にも参加されません。情報も伝わりにくくなっています。そういうところが欠けているのではないかと思います。国際交流も推進していかなければなりません。安全面でいくと、外国の方の観光に対する安全も出てきます。そういう視点が基本構想の中に欠けているところがあります。</p>
会長	<p>また、文章でもお書きいただければと思います。たしかに重要な視点です。外国籍の住民の方、海外からいらっしゃった観光客の方、一時滞在の市民の方、そういう市民の皆さんの安全や暮らしやすさ、また、外国籍の方だと、例えば、自治会に入っていないとか、言葉の関係で意思疎通に不自由を感じるということがあった時に、不都合があつてはいけないなど。そういう意味でいうと、色々な施策に関わるのですが、もう一度外国籍の方たちの広い意味での福祉という観点に留意して、その施策を進めておく必要があるということは書いておく必要があろうという御意見だったと思います。</p> <p>そんな感じの意見を特にいただくと、答申の部分で総合計画の推進に当たってというような留意事項のところ書き込むことができます。今のようなお話をまとめさせていただきたいと思いますし、ぜひ御意見をお寄せいただきますようよろしくお願いしたいと思います。</p> <p>その意味でいうと、資料2の119ページ、新しい地域の仕組みづくりというのが、時間はかかるけれども絶対にこれから重要であると思います。色々なことを横申するような、福祉の部分もそうですし、学校の話もそうですし、観光の話もそうですし、移住定住の話もそうですし、新しい事業の仕組みづくりというのが政策推進の今回のポイントになっていくのではないかと、だから重視すべきですよということを答申の中に書いておきたいと思っております。あらかじめ、みなさんに申しあげておこうと思います。そんなことをぜひ御意見いただければと思います。</p> <p>予定されていた議事は終了しました。皆さんの御協力に感謝を申し上げます。ありがとうございました。</p>

副会長	<p>5 副会長あいさつ</p> <p>お疲れさまでした。8回の長きに渡りありがとうございました。ところが最後、宿題を残してしまって申し訳ありませんが、あとひと踏ん張りです。御協力よろしく申し上げます。いただいたものについては、会長、副会長の方で検討し、答申というかたちにさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。どうもお疲れ様でした。</p>
会長	<p>それでは、最後に事務局から申し上げます。</p>
事務局	<p>審議会の閉会に当たりまして、一言お礼申し上げたいと思っております。</p> <p>委員の皆様には、昨年6月18日の第1回目の審議会から本日まで、計8回の審議会を開催させていただき議論を重ねてまいりました。</p> <p>皆様の御尽力を持ちまして、第1次総合計画の振り返りや成果から、「つなぐ」をキーワードに第2次総合計画の基本理念を導き出させていただきました。10年後の将来像を「ともにつながり ともに創る 住みよさ実感 米原市」とした第2次総合計画基本構想（案）をまとめることができました。</p> <p>今後、職員一丸となって第2次総合計画に基づく施策を進めていく所存でございます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、今後、第2次総合計画に基づくまちづくりが、しっかりと推進しているかなど、それぞれのお立場から見守っていただければ幸いです。</p> <p>そして、今後におきましても引き続き、市政へ参画していただきますようお願いを申し上げまして、米原市総合計画審議会委員の皆様へのお礼とさせていただきます。</p> <p>6 閉会</p>